

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成28年5月度 番組審議会概要

平成28年5月12日（木）

14時00分～15時00分

テレビ静岡本社 3階会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 花森 崇行 五十住和樹

— 議 題 —

番組名 「LIVEをピピピ てっぺん静岡」

放送日時 平成28年4月19日（火）
15時50分～16時50分

— 番組内容 —

テレビ静岡の夕方レギュラー情報番組、「てっぺん静岡」は4月に番組リニューアルを図り、生放送で「みんなのニュース」と連なるライブ感を活かし、より地域に密着したかたちでの情報の発信を目指している。

当日の大きな項目は、「熊本大地震 災害派遣で命を救う自衛官」「駿河湾で幻のサメ揚がる」「脳トレ新生活クイズ」「しらす祭り 鮮度抜群の秘密」の4つ。

— 審議概要 —

- ◎「全体として、テレビとラジオの感覚が融合し、地域に密着している」
- ◎「4つの大きな特集を示すことで見る側として分かり易かった」
- ◎「回数を重ねて洗練されてきて、まとまり感がある」
- ◎「情報番組としてオーソドックス。それゆえに特色を出すのが難しいのでは」
- ◎「情報番組をあまり見ることはなく、奥深さがないことが不満だった」
- ◎「いい番組なのだが、間延び感がある。安心して見られない」
- ◎「災害派遣を希望する若い自衛官と、目標意識を指導する教官の姿が良かった」
- ◎「新人自衛官5人全員が災害派遣を希望していることに違和感を持った」
- ◎「クイズは番組全体との関連性が分かりづらい。毎日これでいいのか」
- ◎「しらす取材は、漁法・加工法・販売と分かり易く、リポーターの食べっぷりが良くおいしそうで臨場感があった」
- ◎「『思い出静岡』は、アナウンサーの独特なリズム感があって良い」
- ◎「『てっぺん Voice』は視聴者の声を iPad で紹介しスーパーがでるなど、リアル感があって良い」
- ◎今後の改善点について
 - ・「長く続けるためには、『静岡大好き』な人を増やすことであり、視聴者が知らない場所・ものについて、知って得する裏側の意外な事実を取り上げるべき」
 - ・「番組の名物キャラとなるような、自社の出演者を育てては」
 - ・「もっと静岡にいる人にスポットを当ててゆくようにした方が良い」
 - ・「CMが長く感じる。もっと短くしては」
 - ・「『どこよりも早いニュース』を標榜するなら、もっと早い時間に出した方が良い」
 - ・「ニュースとの乗り入れ部分で、もっと演出に工夫が欲しい」
 - ・「MC（高橋）がラジオとテレビの帯番組をやっていると思うと疲れた感がある。週末とか別立てにしてみたら」
 - ・「企画ものの成功率は100%ではない。3～4割の感覚で臨めば良い」

次回の番組審議会は平成28年6月16日（木）の予定。